

業務改善の実施状況報告

組織名	水産庁資源管理部国際課	連絡先	3501-3861
所管する業務の概要	漁業に関する国際協定に関する業務、水産庁の所掌事務に係る国際協力に関する事務の総括に関する業務を実施。		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>○ 農林水産省HPを通じて出された意見等については、広報担当部局を通じて速やかに回答することとしている。 また、電話で意見等を直接受け付けた場合は、その場で回答できるものについては丁寧にわかりやすく回答している。 また、その場で回答できないものについては、問い合わせの内容を確認し、後程連絡する旨を伝え先方の理解を得た上で一旦電話を切り、可及的速やかに先方へ回答するよう心がけている。</p> <p>○ 国際交渉の内容について、すべてをオープンにすることは必ずしも適当でないが、国民の関心が高い事項については、わかりやすく問題点、影響等について情報提供を行うとともに、関係者には各々の関心分野に重点を置いた情報提供を心がけている。 例えば、現在農水省ウェブサイトにもマグロに関する資料を掲載 (http://www.jfa.maff.go.jp/j/tuna/index.html) しており、情報更新を行っている。</p> <p>更に、国民の関心が高い問題については、マスコミ等を通じた丁寧な状況説明等に努めており、また、新たな規制等により直接影響を受ける者として、漁業者、流通関係者、</p>	<p>引き続き左記取組に努め、国民からの意見等について真摯に受け止め、丁寧かつ迅速な回答を心がけていく。</p> <p>引き続き左記対応に取り組むと共に、不都合な情報についても積極的に開示していくなど、国民に対して常に公平かつ丁寧な説明となるよう、努めていく。</p>

NPO等に対しても情報提供等に努めている。

例えば、今年3月に行われたワシントン条約締約国会議（CITES）において大西洋クロマグロの附属書I掲載提案が行われた。結果として当該提案は見送られたが、この問題は国民の高い関心があり、政務三役や政務三役の指示を受けた事務方が、マスコミ等を通じ、クロマグロ等の漁業資源は地域漁業管理機関が科学的資源評価に基づき管理を行うべきといった我が国の考え方を説明するとともに当該提案が採択された場合のマグロ類供給にかかる国内への影響等、丁寧な情報提供を行った。

一方で、資源管理が十分効果をあげていないのではないかとの不信感は、国際社会では依然として根強く、今後は、大西洋クロマグロに限らず、他の魚種についても国際的な地域漁業管理機関における管理の徹底が格段に強く求められる可能性が高いものとみられ、特に我が国は、太平洋クロマグロの最大の漁業国かつ消費国として、その持続的利用に大きな責任を有する立場にあることから、我が国として取り組むべき基本的な方向性を、「太平洋クロマグロの管理強化についての対応」として公表（平成22年5月11日）した。

(http://www.jfa.maff.go.jp/j/kokusai/kanri_kyouka/index.html)

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>○ 漁業者、流通関係者等に対して、クロマグロの資源管理の説明等を行い、多数の参加が得られた。 また、国民の関心が高いまぐろについて、プレスリリースや記者への説明会を開催しており、国際資源管理の実情などについて、広く国民に情報が伝えられているようになっている。 例えば、本年5月11日公表の「太平洋クロマグロの管理強化についての対応」に基づいて実施する太平洋クロマグロ資源回復に必要な措置について、漁業者を含む関係者との意見交換を実施している。</p> <p>○ 「ヒヤリ・ハット事例関連点検項目」を基に、業務に潜むリスクの把握に努めている。</p>	<p>引き続き左記取組を継続するとともに、関心のある者から説明要求があれば、個別対応も含め、丁寧な対応に努めていく。</p> <p>今後とも、業務においては常にリスクが潜んでいることを認識し、引き続き左記取組を継続していく。</p>

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>○ 何の決定を為すにしても、課長、室長等管理職の方々とは自由に意見交換できる体制になっている。 また、国際交渉で多くの者が海外出張する場合は、課全体で担当班の業務をサポートできるようにし、残っている課員1人に業務が集中するといったことが無いよう、取り計らっている。</p>	<p>引き続き左記取組に努め、自由な意見交換が行える職場体制を維持するとともに、業務の平準化に取り組んでいく。</p>

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
○ 「国際課連絡掲示板」を設置しており、外部からの問い合わせや、要望事項、プレスリリース事項など、課員全体で外部への応対がスムーズに行えるよう、課内での情報共有を行っている。	引き続き左記取組に努め、外部からの問い合わせに対して速やかな回答ができるよう取り組んでいく。